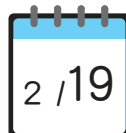


# まちの話題



## 農村地域の活性化 に貢献

紺綬褒章を受章された西部武さんに町長から褒章の伝達が行われました。紺綬褒章は、公益のために私財を寄附した人に授与される褒章です。西部さんは、昨年5月に農村地域の活性化に役立てて欲しいと町に寄附をされており、その功績が今回認められ受章されました。西部さんは「このような章をいただき、誠に光栄です。これからも農村地域の発展を見守りたい」と伝達を受けた気持ちを話してくれました。



## 音更産のなたね油 ができるまで

音更産のなたね油についての学習と、食育授業が柳町小学校4年生を対象に行われました。講師はなたね油生産組合の皆さん。菜の花が畑で育成し、コンバインで刈り取られるまでを映像で学び、搾油機を使って実際に油をしぼる体験をしました。給食では、なたね油を使ったジャーマンポテトなどを試食。松井花怜<sup>かれん</sup>さんは「油にはいろいろな色があったり、味があるなど勉強になりました」と話してくれました。



2 / 22

## 授業参観で保護者に太鼓を披露



駒場中学校の授業参観で1年生が保護者の前で太鼓の演奏を行いました。生徒代表の美藤好喜くんが「練習の成果を見てください」とあいさつ。出陣ほか2曲を力強く演奏しました。講師の葛岡美英さんは「3日間の練習で、全体がそろっていて素晴らしい」と生徒のパフォーマンスを褒めていました。

2 / 15

## 欧州で農業技術を学びます



若手農業者向け営農講座「農業年輪塾」10期生の農業視察研修出発式が役場で行われました。町長が「開講10年という記念すべき年です。この欧州視察研修の機会を大切にしてほしい」と激励。研修生を代表して小野颯さんは「日本の農業の弱点を見つけてきたい」と力強く話していました。

3 / 10

## 知的障がいのある人とその家族が調理体験



音更町手をつなぐ育成会(栗林秀治会長)による調理体験教室が、ひびき野会館で行われました。この日のメニューはカレーライスとチーズケーキ。参加した30人のうち、はじめて包丁に触れる会員も親に手伝ってもらいながら丁寧に調理しました。カレーが完成した後は、みんな笑顔でおいしくいただきました。

3 / 10

## 災害時に必要な女性の防災グッズとは



北海道防災教育アドバイザーの住友静恵さんによる「女性のための防災講座～まさかはずりゃってくる～」と題した講演会が木野コミセンで開かれ、110人が参加しました。地震対策や女性ならではの用意しておきたい防災グッズの紹介ほか、避難所のプライバシー問題など、さまざまな防災対策を学びました。